

2010年 7月25日

1950年12月16日 第3種郵便物認可

（石川県版）

平和新聞

発行 石川県平和委員会

〒921-8065 石川県金沢市上荒屋1丁目312
石川県労働者学習会館内
☎ 076-240-7192 FAX 249-1409
URL <http://ishikawa-peace.com>

NPTニューヨーク行動の成果を原水禁世界大会へ

各組織からの代表派遣を急ぎましょう

行進」は、6月25日福井県へ引き継ぐ



「核廃絶をめぐる情勢は、NPT再検討会議を取り巻く全体の流れから言えば、国連事務総長のあいさつや、いろんなNPT側の文書にも反映されているように、今回は大きな流れを作り出したし、希望も作り出すことが出来たと思います。ただ、全体が『核兵器のない世界』に本格的に動き出したわけではないことをしっかりとらえておいた方がいいと思います（日本原水協・高草木事務局長）」。

このように、運動は前進し始めています。こうした中で開かれる今年の「原水爆禁止世界大会」は、この流れをより前へ進める大きな節目になります。世界各国から集まる政府、

NGO、市民運動が一体となって全世界へ新たな、確固とした核廃絶をアピールする大会になるよう、一人でも多くの代表を派遣するために各組織への働きかけを強めましょう（NPT行動の報告は裏面に掲載）。

～世界大会の主な日程～

★8月4日（水）午後「開会総会」（広島・グリーンアリーナ）

★同 5日（木）魅力いっぱいの「19の分科会・動く分科会」（一人ひとりの参加者が主人公になり、自由に発言・討論出来るのが最大の魅力です。政府・海外代表との交流・討論、テーマや分野ごとの討論、青年たちの被爆者訪問、原爆遺跡・碑めぐりや米軍・岩国基地調査など、世界大会でしか体験できない企画が盛りだくさんです）。

★同 6日（金）「閉会総会」後、JRで帰沢
参加費は約6万5千円。

全国大会 若者と女性を重視した活動に

5月29・30日の両日、山梨県草吹市で「日本平和委員会第60回定期全国大会」が開催され、石川から日谷守、納口清隆、山野健治の各代表理事が参加し、「地域に深く根ざした平和委員会づくりを」を巡って、各地の活動経験に学び熱心な討論に加わりました。

今年の大会は、新安保条約制定50年、NPT再検討会議の開催、普天間基地問題など、重要な闘いが続く

中で開かれました。これらの闘いに平和委員会が中心的な役割を果たそうとの決意あふれるものとなりました。

大会では「普天間基地の無条件撤去をめざす全国的連帯を広げよう」の特別決議を採択しました。

また、新しい代表理事に俳優の有馬理恵さん（4年前、県内で一人芝居「釈迦内枢喰」を上演）が選出されなど、女性と若者の参加を重視する大会でもありました。

（山野・記）

現地の平和委員会メンバーの案内で、普天間・嘉手納・辺野古・高江などを訪れ、実情視察と激励・地元民との交流を予定しています。※費用 約6万円
希望者は山野事務局長まで（090-2121-9741）

沖縄の米軍基地の実態を知りたいとの要望を受け、県平和委員会では、基地撤去闘争の支援を兼ね、9月27日（月）～29日（水）に、「沖縄基地ツアーア」を企画しました。

県平和委「総会」開かれる

5月23日、石川県文教館において石川県平和委員会の総会が開かれ、提案された諸議案を採択するとともに、次の役員が選ばされました。

◎代表理事 日谷守、納口清隆、山野健治。◎常任理事 佐藤公男、柴原和美、中川寿美栄、内藤晴一郎、藤田克彦、舛田辰男。◎事務局長 山野健治。◎事務局次長 柴原和美、内藤晴一郎、藤田克彦。

長年、代表理事として活躍された水上喬子さんが退任されました。お疲れ様でした。

輪島に平和委が誕生

5月9日、輪島市平和委員会が発足しました。内藤功弁護士を講師に開かれた「安保50年 核密約と普天間問題から見る『安保』の本質」の学習会の後、全国の運動に積極的に参加することを申し合わ、県下初の地域組織として産声を挙げました。

◇ ◇ ◇

「日本平和大会」は11月21日（日）～23日（祝）、佐世保市で開催されます。参加者を募集中。（ウラヘ）

(ウラへつづく)